

農地法第3条の規定による許可申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

北谷町長 殿
(沖縄県知事)

記入例

譲渡人 北谷 太郎 (印)

譲受人 北谷 一郎 (印)

下記農地(採草放牧地)について 所有権
賃借権 を 移転
設定(期間 10 年間)
使用貸借による権利
その他使用収益権 ()

したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。(該当する内容に○を付してください。)

1 申請者の氏名等

申請者	氏名	年齢	職業	住 所
譲渡人	北谷 太郎	65	農業	北谷町△△△×-×-×
譲受人	北谷 一郎	55	農業	北谷町〇〇×-△

2 許可を受けようとする土地の所在等

土地の所在			地目		面積 (m ²)	対価、賃料等 の額 (円) <small>[10a当たりの額]</small>	所有者の氏名 又は名称 <small>現所有者が登記簿と異なる場合</small>	所有権以外の使用収益権が 設定されている場合	
市町村 名	大字	字	地番	登記簿				現況	権利の種 類、内容
北谷町	〇〇	××	**	畑	畑	600	11,400 [19,000/10a]	北谷 太郎	
北谷町	△△	□□	**	畑	畑	400	7,600 [19,000/10a]	北谷 太郎	
							/10a		
							/10a		

3 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

①時期 (許可後 平成〇〇年〇〇月から) ②対価 ()
③賃借料等の給付の種類および額 (年間19,000円) ④契約期間 (10年間)

平成 年 月 日

上記申請については、下記条件を附して許可します。

農地法第3条第3項の規定の適用を受けて同条第1項の許可をするので、
毎事業年度の終了後3箇月以内にその農地(採草放牧地)の利用状況に
ついて、許可権者に報告すること。

(県知事許可の場合は市町村農業委員会等を経由すること。)

申請人訂正欄 ※漢数字を使用する	担当者確認欄 ※申請人は記入しない	許可権者訂正欄 ※申請人は記入しない
<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; width: 80%; margin: 0 auto; padding: 10px;"> (印) 申請人印 (印) (譲渡人) (譲受人) </div>	<div style="border: 1px dashed black; width: 80%; margin: 0 auto; height: 100px;"></div>	<div style="border: 1px dashed black; width: 80%; margin: 0 auto; height: 100px;"></div>
<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; width: 80%; margin: 0 auto; padding: 10px;"> (印) 申請人印 (印) (譲渡人) (譲受人) </div>		

年 月 日 訂正・再交付

【教示】裏面を読んでください。

農地法第3条の規定による許可申請書（別添）

I 一般申請記載事項

1-1

<農地法第3条第2項第1号関係>

権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用の状況

<農地法第3条第2項第5号関係>

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における経営面積（農地・採草放牧地）の状況

特例（集約的に行われる事業等）の該当有無 有 無 ※「有」の場合は、様式第1号-③添付

[経営地]

(単位: m²)

	今回権利を取得する土地①	所有地		所有地以外の土地		経営面積合計 ①+②+③
		自作地②	貸付地	借入地③	貸付地	
田						
畑	1,000	1,500		500		3,000
樹園地						
計	1,000	1,500		500		3,000
採草放牧地						

[非耕作地]

	所在・地番	地目		面積 (m ²)	状況・理由
		登記	現況		
非耕作地	所有地	なし			
	所有地以外の土地	なし			

(記載要領)

- 「自作地」、「貸付地」及び「借入地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。
なお、「所有地以外の土地」欄の「貸付地」は、農地法第3条第2項第6号の括弧書きに該当する土地です。
- 「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「～であることから条件不利地である」、「賃借人〇〇が〇年間耕作を放棄している」、「～のため〇年間休耕中である」等自らの耕作又は養畜の事業に供することができない旨を詳細に記載してください。

1-2 <農地法第3条第2項第1号関係>

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の機械の所有の状況

- 作付（予定）作物、作物別の作付面積 …営農計画書の添付
- 大農機具又は家畜

		大農機具				
		耕うん機	トラクター	農薬散布機	草刈機	その他()
確保	所有	1 台	台	台	台	
	リース	台	台	台	台	
導入予定	所有	台	1 台	台	1 台	
	リース	台	台	台	台	
資金繰り	資金繰り	該当するものに○を付すこと 自己資金・金融機関からの借り入れ・その他()				

家畜				
乳牛	肉用牛	豚	鶏	その他()
頭	頭	頭	羽	

(記載要領)

- 「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン等です。「家畜」とは、牛、豚、鶏等です。
- 導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ(融資を受けられることが確実なものに限る。)等資金繰りに関しても記載してください。

